

## 2019年5月11日(土)日帰り 白馬鑓山スキー報告 青松(単独)

5/11 晴れ、6:00 猿倉出発、GW 明けなので駐車場の車は少ないか。

無理やりでよいのなら駐車場から数分でシール歩行が可能。

10 分も進めば雪は十分。長走沢もシールで通過。

大雪渓下部はやはり大デブリ。先日の GW 針の木雪渓より激しい。

しかし雪渓の幅がるので滑り降りるのはこちらの方が楽か？

10:10 白馬山荘、ここまでシール歩行。小休憩。人気はなくシーンとしている。



ここから山頂まで雪は少ないので板を脱ぐ。

10:35 白馬岳山頂。これから向かう清水谷源頭を窺う。

11:00 山荘前から板を履き、白馬と旭の鞍部から南西方向へ下っていく。

メローな地形とやや硬めのザラメで滑りやすい。

11:20、標高 2300M の沢の合流地点。

少しでも登山が楽なようにと一つ東側の沢を降りたが幅狭く一部雪割れしており滝が出ていた。素直に降りた方がよかった。ここから登山。鑓ヶ岳から北西に伸びる尾根の標高 2400M 辺りで補給休憩していると 2 人組が追い付いてきた。この後この 2 人組と前後しながら鑓ヶ岳に向かう。

13 : 25 白馬鑓ヶ岳山頂、人気はまばら。

13 : 40 山頂発、山頂から鑓沢に入る。

山頂直下は雪付悪く雪庇のようなところを滑る感じだが、すぐに広い斜面となる。ザラメの快適斜面と言いたい所だが、下るにつれてどんどん重くなる。すでに雪はグサグサ、ザラメが融けた感じの重い雪。

13 : 55 鑓温泉。入りたかったが結構くたびれていて、小日向のコルへの登山を考えると気力が出なかったのでスルー。

15 : 10 小日向のコル、小休憩。ここまで来たらあとは降るだけ。最後の滑降だが雪質悪く、足が終わりかけで、ただこなすだけ。藪が濃くなったような猿倉台地を経て、15 : 45 猿倉着。しんどかった。

